

おうみはちまん

広報
omihachiman

7

2021

No. 136

ふるさとの花が告げる
初夏の訪れ

りんどうに似ていること、武佐地域で発見されたのが花の名前の由来といわれ、「近江八幡市の初夏の花」に選定されている「むしゃりんどう」。5月21日、武佐小学校3・4年生が、地元で栽培活動に取り組む「むしゃりんどう保存会」の代表・成田^{つたよし}傳良さんらの指導のもと、西の湖のヨシを使った成田さん手作りのヨシペンでスケッチしました。子どもたちは、初めて手にするヨシペンの先に墨汁をつけてヨシ紙に花の輪郭を描いた後、クレヨンで花びらや葉の色を塗ったり、指に付けたクレヨンで紙をこすって淡い色合いを表現したりするなど、自由な発想で世界に一つだけのむしゃりんどうの絵を描いていました。